

ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH) の推進

ZEH支援事業【環境省】

ZEH+実証事業【経済産業省】

ZEHに定額60万円補助

さらに省エネ性の高いZEH+に定額105万円補助

概要

年間の一次エネルギー消費量が賞味でゼロ以下となるZEHについて、戸建住宅の新築・改修に対して補助金が交付されます。また、低炭素化に資する素材を一定量以上使用、または先進的な再エネ熱利用技術を活用したZEH戸建住宅には定額加算があります。

概要

現行のZEHより省エネ性をさらに深掘りし、設備のより効率的な運用などにより太陽光発電などの自家消費率拡大を目指した「ZEH+」の導入を支援するため補助金が交付されます。

これだけお得です

定額60万円／戸

蓄電システム2万円／kWh
(上限20万円かつ、補助対象経費の1/3以内)

これだけお得です

定額105万円／戸

蓄電システム2万円／kWh
(上限20万円かつ、補助対象経費の1/3以内)

このような住宅が利用できます

- ▶ 外皮性能の強化
- ▶ 再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量を削減(再生可能エネルギーを含み100%以上削減)

寒冷、低日射地域においては
Nearly ZEH(省エネ基準から▲75%以上)
での申請も可能

都市部などの狭小地においては
ZEH Oriented(再生可能エネルギーを加味しない)
での申請も可能

このような住宅が利用できます

- ▶ 外皮性能の強化
- ▶ 再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から25%以上の一次エネルギー消費量を削減(再生可能エネルギーを含み100%以上削減)
- ▶ 次の3要素のうち2要素以上を採用
 - ・ 外皮性能の更なる強化(U_A値が次の値以下)
1・2地域:0.30、3~5地域:0.40、6・7地域:0.50
 - ・ 高度エネルギーマネジメント(HEMS等)
 - ・ 電気自動車を活用した自家消費の拡大措置

寒冷、低日射、多雪地域においては
Nearly ZEH+(省エネ基準から▲75%以上)
での申請も可能

- 低炭素化に資する素材(CLT:直交集成板)の導入、又は先進的な再エネ熱利用技術(地中熱利用技術、太陽熱利用技術)を活用する場合:定額を加算
- 蓄電システムを設置する場合:2万円/kWh加算(上限20万円又は補助対象経費の1/3)
- ZEHビルダー/プランナーにより設計・建築・販売等される住宅であることが要件
- 建築物省エネ法第7条に基づく省エネ性能表示(BELS)の取得・提出を必須とし、申請の柔軟化を図る。
- 事業完了後2年間、居住者に対して、エネルギー使用量(電力、ガス、灯油等)等のアンケートを実施するほか、その他の事項については、基本的に平成31年度の制度を踏襲予定

2020年2月末の情報で、内容が変更になる場合があります。

ZEH+強化事業【経済産業省】

レジリエンス強化のZEH+に定額115万円補助

概要

ZEH+の定義を満足する戸建住宅を対象に、①蓄電システム、②太陽熱利用システム、③停電自立型燃料電池のいずれかを導入する住宅に対して補助が行われます。住宅のレジリエンス機能を強化することが目的です。

これだけお得です

定額115万円／戸

蓄電システム、太陽熱利用システム、停電自立型燃料電池の導入に定額加算(調整中)

このような住宅が利用できます

- ▶ ZEH+実証事業の要件に加え、①蓄電システム、②太陽熱利用システム、③停電自立型燃料電池のいずれかを導入すること

ZEHビルダー／プランナーとは

ZEHの普及目標設定、目標達成のための方策などの条件を満たし、経済産業省に見冷められ登録された事業者のこと

●強化外皮性能

地域	1	2	3	4	5	6	7
省エネ基準	0.46		0.56	0.75	0.87		
ZEH	0.4以下		0.5以下	0.6以下			
ZEH+ (更なる強化)	0.3以下		0.4以下	0.4以下※		0.5以下	

※地域区分4及び5は当面0.5でも可

提案できるTDYの主要商品



節湯水栓



高断熱浴槽



窓



玄関ドア



玄関引戸

サステナブル建築物等先導事業【国土交通省】

LCCM住宅に最大125万補助

概要

省CO₂の実現性に優れたリーディングプロジェクトとなる住宅・建築プロジェクトを公募し、整備費などの一部を補助します。LCCM住宅部門では戸建住宅を対象とし、建設段階だけでなくライフサイクル全体を通じたCO₂排出量のマイナスが求められます。

これだけお得です

上限125万円／戸

かつ
掛かり増し費用の1/2以内

このような住宅が利用できます

- ▶ 使用段階のCO₂排出量に加え、資材製造や建設段階のCO₂排出量の削減、長寿命化によりライフサイクル全体(建築から解体・再利用などまで)を通じたCO₂排出量をマイナスにすること
- ▶ LCCO₂評価の結果が0以下になること
- ▶ CASBEE B+ランク以上、または長期優良住宅認定を取得していること

